

令和4年度当初予算、令和3年度3月補正予算概要

令和4年度は、第7次総合計画策定後初めての予算編成であることから、「次世代につなげる夢と希望に満ちた住みたくなるまち敦賀」を実現すべく、計画に掲げられた施策に重点的に予算を配分しました。

このため、当初予算においては、子育て支援の充実や教育環境の整備、産業構造の複軸化や新幹線開業に向けた受け皿づくりの推進など、これまでの取組をさらに強化するとともに、カーボンニュートラルやDXといった新たな課題に着手するための予算を計上しております。

これらの事業とともに、最終処分場整備等の大規模プロジェクトや感染症対策、地域経済活性化のための取組を着実に推進するため、ふるさと応援基金等からの繰入に加え、国庫支出金の積極的な活用を図り、切れ目のない経済対策を実施してまいります。

その結果、新年度の予算規模は、前年度と比較して一般会計は15.3%の増、全会計では9.6%の増となりました。

当初予算の主な事業といたしましては、お手元に配布した資料のとおりですが、予算編成の重点施策ごとに主な事業等を申し上げます。

はじめに『子育て環境日本一の実践』につきましては、駅西地区に開設が予定されている、親子が気軽に集い、育児相談や一時預かり等を行うことができる子育て支援施設の整備に対して補助を行うとともに、昨年春に開校した角鹿小中学校内に角鹿児童クラブを整備する所要額を、昨年度に引き続き計上いたしました。

また、市内の保育園、幼稚園等において、園児の健全な発達を促すことを目的に、地域の特色を生かした幅広い生活体験や自然体験を学習するために必要な経費を計上いたしました。さらに、放課後児童クラブでは、市内全施設を対象に、利用児童の出欠管理や保護者との双方向連絡などの業務をICT化するための環境整備を、病児・病後児保育施設においては、県の事業を活用し利用料の無償化拡充を図るとともに、利用者の増加に対応するため、受入定員の拡

大を実施します。

次に、『**新幹線開業に向けたにぎわいの創出**』につきましては、機運醸成、開業効果の最大化を図るため、行政・民間企業・関係団体による協働推進組織が実施するプロモーション施策等に係る負担金を計上するとともに、駅西地区において本年秋に供用を開始する知育・啓発施設の開設準備及び運営に係る経費を計上いたしました。

また、本市が整備を担う新幹線駅前広場などの駅周辺整備につきましても令和6年春の開業に向け、関係機関と連携し、着実に工事を進めるための事業費を計上いたしました。

次に、『**グリーン&デジタル都市への挑戦**』につきましては、本市のスマートエリアの将来像を描くビジョンの策定と、この実現に向けたデジタルサービスの導入等に関する基本計画を策定してまいります。

また、コミュニティバス、ぐるっと敦賀周遊バス等に係るキャッシュレス決済の導入準備や、市内の全除雪車にGPS装置を設置し、除雪の見える化を推進する経費、手作業や紙ベースで行っている庁内事務の一部を、RPA等によりデジタル化し事務の効率化を図る経費などを計上いたしました。デジタル技術やデータを活用することで、住民の利便性向上、業務の効率化に繋げてまいります。

最後に、『**コロナケア**』につきましては、ワクチン接種を迅速かつ安全に実施するため、前年度に引き続き、コールセンター・集団接種会場の設置に要する経費を計上するとともに、75歳以上の高齢者や障がい者の方に対する、接種会場までのタクシー利用に係る助成費、各施設における感染拡大防止のための消毒液等の購入経費を計上いたしました。

また、感染の早期発見、拡大防止のため、PCR検査等で生じる保険診療の自己負担額に対する助成や、医療従事者が家庭内感染等を懸念して帰宅を控える際の宿泊先の確保についても、引き続き行ってまいります。さらに、アフターコロナを見据え、コロナ禍で外出を控えていた高齢者の活動意欲を引き出し、健康増進に繋げることを目的として、博物館、ムゼウムなどの施設入場料の割引や、ケーブルテレビでのつるが元気体操の定期放映等を実施いたします。

事業者への経済活動支援、消費喚起の取組としては、中小企業者が行う設備投資等への補助やサテライトオフィスの整備に係る補助、事業者等が実施する消費拡大を図るためのイベント等に対する支援を行います。

以上が令和4年度当初予算の概要でございます。

続きまして、令和3年度3月補正予算について申し上げます。

3月補正予算につきましては、事業の完了や財源の確定に伴うもののほか、国の補正予算に合わせた追加の経済対策事業など予算措置を必要とするものについて計上いたしました。

まず、一般会計では、新年度予算に計上予定であった道路改良や橋りょう長寿命化、総合運動公園テニスコートの改修経費等について、国の補正予算を活用し、前倒しで計上いたしました。

その他の予算といたしましては、職員の早期退職に伴う退職手当や、ふるさと納税寄附金の増加に伴う関係予算を計上いたしました。

次に、特別会計では、国民健康保険特別会計において、保険給付費の不足見込み額を、介護保険特別会計では、前年度決算における剰余額確定等に伴う基金積立金を計上いたしました。

最後に、企業会計につきましては、下水道事業会計において、雨水管渠呉羽幹線の整備費に国の補正予算を活用し、前倒しで計上いたしました。

以上が3月議会に提案いたします令和4年度当初予算及び令和3年度3月補正予算の概要でございます。